



2019年3月20日

各 位

会 社 名 株式会社エラン  
代表者名 代表取締役社長 櫻井 英治  
(コード番号 6099 東証第一部)  
問合せ先 取締役 原 秀雄  
(TEL. 0263-29-2684)

## (訂正・数値データ訂正)「2018年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2019年2月13日に公表いたしました「2018年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部誤りがありましたので下記の通り訂正いたします。また、数値データにも誤りがありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

### 記

#### 1. 訂正の理由・内容

1株当たり純資産額の計算過程で新株予約権を「純資産の部の合計額から控除する金額」に含めていなかったことから、当連結会計年度に係る1株当たり純資産額が誤りであることが判明いたしました。

また、連結キャッシュ・フロー計算書のうち、当連結会計年度に係る営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」、「現金及び現金同等物の増減額」及び「現金及び現金同等物の期末残高」の数値に誤りがあることが判明いたしました。

このため、これらの誤った数値を訂正するものであります。

## 2. 訂正箇所

### <サマリー情報>

#### 1. 2018年12月期の連結業績（2018年1月1日～2018年12月31日）

##### （2）連結財政状態

###### 【訂正前】

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期	7,824	4,262	54.2	140.68
2017年12月期	6,526	3,497	53.6	116.96

###### 【訂正後】

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期	7,824	4,262	54.2	140.08
2017年12月期	6,526	3,497	53.6	116.96

##### （3）連結キャッシュ・フローの状況

###### 【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年12月期	1,192	△176	△103	3,034
2017年12月期	317	△237	△81	2,122

###### 【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年12月期	1,191	△176	△103	3,033
2017年12月期	317	△237	△81	2,122

(参考) 個別業績の概要

1. 2018年12月期の個別業績(2018年1月1日～2018年12月31日)

(2) 個別財政状態

【訂正前】

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期	7,241	4,078	56.1	134.59
2017年12月期	6,067	3,395	56.0	113.57

【訂正後】

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期	7,241	4,078	56.1	133.99
2017年12月期	6,067	3,395	56.0	113.57

<添付資料 2ページ>

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ 912,638 千円増加し、3,034,988 千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は 1,192,907 千円(前年同期比 875,002 千円の収入増加)となりました。法人税等の支払いで 375,525 千円の資金が減少したものの、年間を通じた営業活動により 1,568,399 千円の資金が増加しました。

【訂正後】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ 910,758 千円増加し、3,033,107 千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は 1,191,027 千円(前年同期比 873,121 千円の収入増加)となりました。法人税等の支払いで 375,525 千円の資金が減少したものの、年間を通じた営業活動により 1,566,518 千円の資金が増加しました。

<添付資料 12 ページ>

4. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)	当連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	950,597	1,282,455
減価償却費	50,381	60,497
のれん償却額	29,313	39,085
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,963	4,169
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	59,863	86,647
受取利息及び受取配当金	△30	△33
株式報酬費用	—	18,207
段階取得に係る差損益 (△は益)	△27,000	—
固定資産売却損益 (△は益)	△1,875	△125
固定資産除却損	680	331
売上債権の増減額 (△は増加)	△713,820	△248,962
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△60,571	△95,983
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4,296	△7,352
仕入債務の増減額 (△は減少)	380,682	404,899
未払金の増減額 (△は減少)	△15,018	△76,583
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	11,569	106,438
その他	△1,444	△5,289
小計	663,661	1,568,399
利息及び配当金の受取額	32	34
法人税等の支払額	△345,788	△375,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	317,905	1,192,907

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)	当連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△24,283	△24,285
定期預金の払戻による収入	24,279	24,283
有形固定資産の取得による支出	△48,375	△35,287
有形固定資産の売却による収入	3,719	125
投資有価証券の取得による支出	—	△67,660
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△160,689	—
無形固定資産の取得による支出	△25,950	△67,189
敷金の差入による支出	△7,568	△7,596
その他	1,029	1,261
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△237,838</b>	<b>△176,349</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	7,140	15,660
自己株式の取得による支出	△89	△92
配当金の支払額	△89,039	△119,486
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△81,989</b>	<b>△103,919</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△1,922</b>	<b>912,638</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,124,271	2,122,349
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>2,122,349</b>	<b>3,034,988</b>

## 【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)	当連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	950,597	1,282,455
減価償却費	50,381	60,497
のれん償却額	29,313	39,085
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,963	4,169
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	59,863	86,647
受取利息及び受取配当金	△30	△33
株式報酬費用	—	18,207
段階取得に係る差損益 (△は益)	△27,000	—
固定資産売却損益 (△は益)	△1,875	△125
固定資産除却損	680	331
売上債権の増減額 (△は増加)	△713,820	△248,962
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△60,571	△95,983
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4,296	△7,352
仕入債務の増減額 (△は減少)	380,682	404,899
未払金の増減額 (△は減少)	△15,018	△76,583
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	11,569	106,438
その他	△1,444	<u>△7,169</u>
小計	663,661	<u>1,566,518</u>
利息及び配当金の受取額	32	34
法人税等の支払額	△345,788	△375,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	317,905	<u>1,191,027</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)	当連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△24,283	△24,285
定期預金の払戻による収入	24,279	24,283
有形固定資産の取得による支出	△48,375	△35,287
有形固定資産の売却による収入	3,719	125
投資有価証券の取得による支出	—	△67,660
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△160,689	—
無形固定資産の取得による支出	△25,950	△67,189
敷金の差入による支出	△7,568	△7,596
その他	1,029	1,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,838	△176,349
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	7,140	15,660
自己株式の取得による支出	△89	△92
配当金の支払額	△89,039	△119,486
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,989	△103,919
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,922	910,758
現金及び現金同等物の期首残高	2,124,271	2,122,349
現金及び現金同等物の期末残高	2,122,349	3,033,107

<添付資料 17 ページ>

(1株当たり情報)

【訂正前】

	前連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)	当連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)
1株当たり純資産額	116.96円	<u>140.68円</u>
1株当たり当期純利益金額	22.11円	28.78円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	21.73円	28.56円

(注) 1. 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当連結会計年度 (2018年12月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	3,497,028	4,262,675
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,497,028	<u>4,262,675</u>
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	29,899,676	30,299,560

【訂正後】

	前連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)	当連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)
1株当たり純資産額	116.96円	<u>140.08円</u>
1株当たり当期純利益金額	22.11円	28.78円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	21.73円	28.56円

(注) 1. 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当連結会計年度 (2018年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,497,028	4,262,675
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	<u>18,207</u>
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,497,028	<u>4,244,468</u>
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	29,899,676	30,299,560

以 上